

今年ありがとうございました！！

受験シーズンもピークを過ぎ、卒業の季節になりました。指導手帳の内容を紹介したり、コーチングシートの内容をシェアするためにはじめたせんせい通信も第10号になりました。これも、ガツ家庭教師の先生方のご協力があってこそだと思っています。本当にありがとうございます、そして、今後ともよろしくお願ひします。

指導手帳は延べ115人、総ページ数462ページ提出してもらいました。コーチングシートは延べ108の方にご提出してもらいました。ご提出いただいた手帳の多くは、しっかりと記載されており、手帳を見させていただいて本当にうれしくなりました。手帳を書くことで、必ず指導力は向上します。是非、これからも手帳に積極的に書き込んで、指導力の向上に努めてください。

DCT学習教材という教材を作成致しました。DCT学習教材は、生徒手帳とプランニングシートの2つで構成されています。生徒手帳を使って、生徒は日々の勉強の記録を残したり、ルーティン達成度をチェックすることができます。プランニングシートを使えば、過去の反省を活かして、次のテストに向けた目標を作成することができます。

一部の先生には既に使用してもらっていますが、4月からは本格的にDCT学習教材というものを導入開始致します。導入に際しては、またこちらから連絡を差し上げます。是非ご協力くださいようお願いします。

指導進歩報告書（コーチングシート）から

せんせい通信第1号に掲載した悩みベスト5を再びご紹介します。悩みというのは、意外に誰でも共通するものが多いので、悩みをシェアすることは大変意義のあることだと思います。

問題点を見つけた時には、「どのようにすれば〇〇は改善されるだろうか？」と自分に質問をして考えると、問題解決へ大きく前進します。「なぜできない！？」から「どうすればできる？」と質問を変えるだけで、気持ちは前向きになり、多くの解決策が見つかります。このアプローチを Solution Focused Approach(SFA)といいます。SFA的視点を大事にして、一つ一つ改善していきましょう。

悩みBEST5

第1位 計算力が弱い・ミスが多い

- 計算があまり速くない（〇先生）
- 計算ミスがある（M先生）
- 数学の計算問題を解き続ける体力がない（N先生）
- 計算力がない（S先生）
- 簡単なミスが多い（S先生）
- 計算ミスが多い（I先生）
- 計算ミスが減らない（S先生）

★解決策★

- ★印は、ベスト解決策に選ばれた内容です
- ★ミスを生徒自身で発見させ、ミスした理由を書いて残させる
 - いつどこで間違っているかを見つけ、そこに気をつけるように教える
 - 宿題で計算問題を出題する
 - ゆっくりと解かせる
 - 100マス計算を取り入れる

第2位 集中力があまりない

- 集中力に波がある（T先生）
- 集中力が続かない（H先生）
- 授業残り10分、集中力がない（I先生）
- 私語が多い（K先生）
- 集中力が低い（無駄話をしたがる）（H先生）
- 集中力がない（O先生）
- 集中がとぎれることがある（M先生）

★解決策★

- ★勉強の合間に休憩を入れる時間をあらかじめ決めてから指導開始する
- 授業中の会話を大切にする
- 世間話は時間外に話す
- 改善策を生徒と一緒に考える

第3位 宿題をやらない

- 宿題を毎日やってくれない（S先生）
- 宿題を忘れてしまう（I先生）
- 宿題を良く忘れる（H先生）
- 宿題をあまりやってこない（S先生）
- 宿題をやらない（H先生）
- 宿題を忘れた（M先生）
- 宿題をあまりやならない（S先生）

★解決策★

- ★連絡帳にスタンプ欄を作成し、宿題ができたらスタンプを押す
- ★1週間に2回はメールを送る
 - 親御さんに毎日チェックしてもらう
 - 机に宿題の内容を書いた紙を貼っておく
 - 一度注意し、目の前で一部を解かせる

第4位 生活態度を直したい

- 日課をたまに忘れ、まとめてやろうとする（I先生）
- 学校の授業を休まない（N先生）
- テストの問題を良くなくす（S先生）
- テレビ・ゲームの時間が長い（O先生）
- オキベンをしている（S先生）
- 学校で授業をちゃんと受けていない（N先生）

★解決策★

- ★毎日繰り返すことの意義を伝える
 - どれだけテレビゲームに時間を使っているかに気づかせる
 - 計画を立て、事前に授業に必要なものを伝えておく
 - テストの問題をファイリングさせる

第5位 ケアレスミスが多い

- ケアレスミスを減らす（H先生）
- ケアレスミスが目立つ（Y先生）
- ケアレスミスを時々する（S先生）
- 問題を急いで解こうとするため、簡単なミスが多い（M先生）

★解決策★

- ★ルーティンとして簡単な問題を宿題にし、毎日反復練習をさせる
- 点数の無駄になることを伝える
- 簡単な問題でもゆっくり解かせる
- 集中力をアップさせる

指導手帳 best of ベストプラクティス 先生の手帳

せんせい通信第1号（08年05月）から第9号（09年02月）まで指導手帳ベストプラクティスに選ばれた方の中から、指導手帳 best of ベストプラクティスとして、先生の手帳を紹介します。先生の手帳からは、過去の経験を活かすという姿勢を見ることができ、素晴らしい姿勢だと感じましたので、改めて紹介することにしました。

指導手帳はしっかり書くことで、確実に指導力が向上するツールです。他の先生の書き方などを参考にすれば、もっと上手に手帳が使いこなせるようになります。是非、これからもフルに指導手帳を活用して、指導を工夫し、指導力向上に努めていってください。